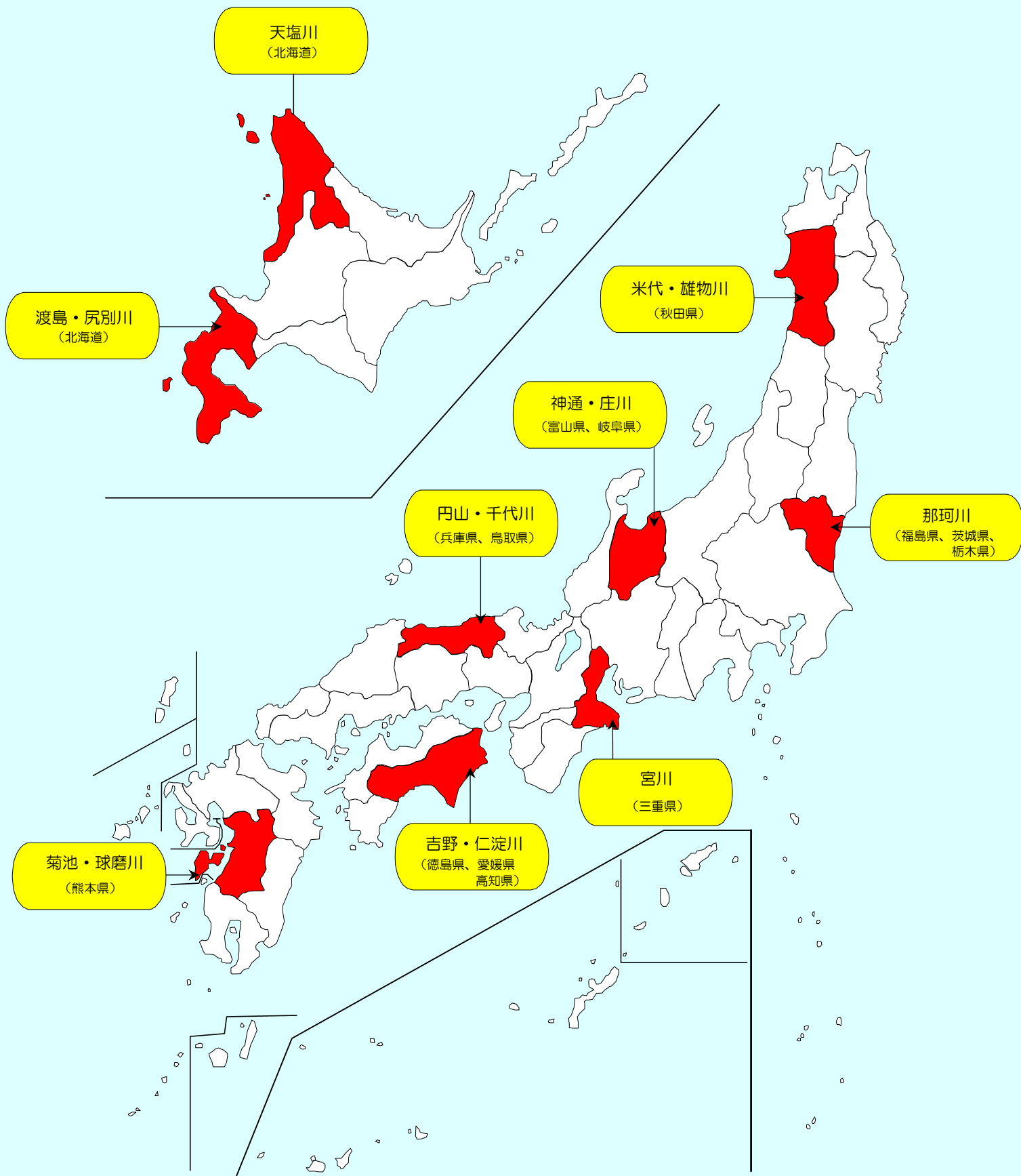


令和3年度期中の評価対象広域流域

※ () は関係都道府県



(参考1)

期中の評価における評価対象流域

No.	広域流域	H30	R1	R2	R3	R4
1	天塩川				○	
2	石狩川					○
3	網走・湧別川	○				
4	十勝・釧路川		○			
5	沙流川			○		
6	渡島・尻別川				○	
7	岩木川					○
8	馬淵川	○				
9	閉伊川		○			
10	北上川			○		
11	米代・雄物川				○	
12	最上川					○
13	阿武隈川	○				
14	阿賀野川		○			
15	信濃川			○		
16	那珂川				○	
17	利根川					○
18	相模川	○				
19	富士川		○			
20	天竜川			○		
21	神通・庄川				○	
22	九頭竜川					○
23	木曾川	○				
24	由良川		○			
25	淀川			○		
26	宮川				○	
27	熊野川					○
28	紀ノ川	○				
29	加古川		○			
30	高梁・吉井川			○		
31	円山・千代川				○	
32	江の川					○
33	芦田・佐波川	○				
34	高津川		○			
35	重信・肱川			○		
36	吉野・仁淀川				○	
37	四万十川					○
38	遠賀・大野川	○				
39	筑後川		○			
40	本明川			○		
41	菊池・球磨川				○	
42	大淀川					○
43	川内・肝属川	○				
44	沖縄	-	-	-	-	-

(参考2)

期中の評価における評価区域の単位について

- 全国森林計画で規定する全国43の広域流域（沖縄を除く）を評価区域の単位とし、5カ年毎に全ての流域で評価を実施。
- 地域の偏りがないように、評価区域が全国的に分散するよう選択。
- 全国43流域を5年で一巡することから、評価単年度の対象流域数は、8～9流域。

令和3年度評価地域数：

8流域 × 3区分 + 1流域（那珂川） × 2区分 = 26対象地

令和3年度期中の評価対象地一覧

広域流域名 (関係都道府県)	区 分	契約件数 (件)	契約面積 (ha)	事業対象 区域面積 (ha)	流域の特徴
天塩川 (北海道)		33	4,267	2,528	ホタテやウニなどの栽培漁業が基幹産業となっており、農業は酪農を主体としている地域である。農業や水産業に欠かせない良質な水の確保及び安定供給が求められている。
	50年以上経過分	2	246	246	
	30～49年経過分	13	1,005	830	
	10～29年経過分	18	3,016	1,452	
渡島・尻別川 (北海道)		76	6,498	5,893	多種多様な漁業を基幹産業としつつ、稲作や野菜、酪農畜産業などの農業も盛んな地域である。農業や水産業に欠かせない良質な水の確保及び安定供給が求められている。
	50年以上経過分	28	3,880	3,682	
	30～49年経過分	28	1,683	1,488	
	10～29年経過分	20	935	723	
米代・雄物川 (秋田)		411	12,731	11,672	秋田県民の水道用及び農業用として水が使用されており、上流では急流河川の特徴を生かして水力発電用としても利用されていることから、水の安定供給が求められている。
	50年以上経過分	95	5,550	5,233	
	30～49年経過分	179	4,678	4,297	
	10～29年経過分	137	2,503	2,142	
那珂川 (福島県・茨城県・栃木県)		25	452	428	水道用及び工業用として水が利用されていることに加え、農業用水としても利用されている。また、たびたび洪水の被害もあったことから水の安定供給が求められている。
	50年以上経過分	8	257	253	
	10～29年経過分	17	195	175	
神通・庄川 (富山県・岐阜県)		603	19,971	17,235	豊富な水量と有利な地形を利用した発電用として水が利用されており、農業用等にも利用されている。また富山県民等の水道用水等にも利用されていることから、良質な水の確保及び安定供給が求められている。
	50年以上経過分	259	10,626	9,991	
	30～49年経過分	205	7,235	5,656	
	10～29年経過分	139	2,110	1,588	
宮川 (三重県)		373	9,338	8,519	上流部で発電用としての水利用が盛んであり、また、松阪市等の水道用及び農業用としても水利用されていることから、良質な水の確保及び安定供給が求められている。
	50年以上経過分	123	4,474	4,244	
	30～49年経過分	123	3,241	2,962	
	10～29年経過分	127	1,622	1,313	
円山・千代川 (兵庫県・鳥取県)		1,091	28,725	25,776	下流部に広がる豊岡盆地で水道用等として水が利用されているほか、雑用水として国道の消雪等に利用されている。また、鳥取県では発電用と農業用を主体に水利用されており、水の安定供給が求められている。
	50年以上経過分	317	11,949	11,365	
	30～49年経過分	451	11,617	10,135	
	10～29年経過分	323	5,159	4,276	
吉野・仁淀川 (徳島県・愛媛県・高知県)		761	17,964	16,863	古くから農業用に水が利用されており、都市用水等としても四国4県にわたり広域的に利用されていることから良質な水の確保及び安定供給が求められている。
	50年以上経過分	239	8,130	7,863	
	30～49年経過分	276	6,300	5,902	
	10～29年経過分	246	3,534	3,098	
菊池・球磨川 (熊本県)		658	16,587	15,368	主に水稲等の農業用や発電用として水が利用されている地域であり、流域外や県外まで広範囲に水が供給されていることから、良質な水の確保及び安定供給が求められている。
	50年以上経過分	237	8,804	8,304	
	30～49年経過分	191	4,147	3,920	
	10～29年経過分	230	3,635	3,144	
合 計		4,031	116,534	104,282	
	50年以上経過分	1,308	53,917	51,182	
	30～49年経過分	1,466	39,907	35,189	
	10～29年経過分	1,257	22,710	17,911	

注) 合計と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

指標年における生育状況取りまとめ表

広域流域名	指標年	調査対象区域面積(ha)						備考
		生育遅れ		広葉樹林化		生育遅れ・ 広葉樹林化 の主な理由		
		面積(ha)	率	面積(ha)	率			
天塩川	50年	246	-	-	23	9%	雪害	ミズナラ等
	30年	210	-	-	-	-		
	10年	131	-	-	-	-		
渡島・尻別川	50年	1,586	-	-	151	10%	雪害	ミズナラ等
	30年	175	-	-	15	8%	雪害	ホオノキ等
	10年	50	-	-	-	-		
米代・雄物川	50年	474	-	-	73	16%	雪害	ミズナラ等
	30年	124	10	8%	6	5%	雪害	ミズナラ等
	10年	84	0	0%	-	-	寒害	
那珂川	50年	89	-	-	22	24%	寒風害	コナラ等
	10年	31	-	-	-	-		
神通・庄川	50年	773	-	-	95	12%	雪害	ブナ等
	30年	91	-	-	3	3%	雪害	アオハダ等
	10年	137	4	3%	-	-	干害	
宮川	50年	228	-	-	9	4%	雪害	ミズナラ等
	30年	136	-	-	2	1%	雪害	ブナ等
	10年	49	12	25%	-	-	獣害(シカ)	
円山・千代川	50年	809	-	-	66	8%	雪害	クスギ等
	30年	367	-	-	43	12%	雪害	クリ等
	10年	154	2	1%	-	-	獣害(シカ)	
吉野・仁淀川	50年	440	-	-	71	16%	水害	シデ等
	30年	189	9	5%	3	2%	水害	シイ等
	10年	195	7	3%	-	-	獣害(シカ)	
菊池・球磨川	50年	1,021	-	-	95	9%	風害	コナラ等
	30年	161	-	-	30	19%	風害	ホオノキ等
	10年	95	-	-	8	9%	獣害(シカ)	

※ 備考欄に記載の広葉樹名は、広葉樹林化した区域の主たる広葉樹
 ※ 森林調査(VI齢級以上の林分において実施)実施済地については当該調査により、森林調査未実施地については簡易な生育調査により、それぞれデータを作成
 ※ 生育遅れ率及び広葉樹林化率は、事業対象区域面積のうち前生広葉樹等面積を差し引いた面積により算定
 ※ 指標年50年(那珂川)においては、寒風害等により広葉樹林化率の割合が大きくなっているが、現地はコナラ等高木性の広葉樹に加え下層にも低木性の広葉樹や草本類がある林況となっており、公益的機能の発揮が確保されていると考えられる。
 ※ 指標年10年(宮川)においては、獣害(シカ)により生育遅れの割合が大きくなっているが、引き続き獣害対策を行い植栽木の保全に努めて参りたい。

指標年における費用便益分析結果

(単位：ha、千円)

広域流域	指標年	事業対象 区域面積	便益 (B)	費用 (C)	B/C	(参考) H28 B/C	総事業費 (税込)
天塩川	50年経過分	246	10,038,903	6,629,622	1.51	-	1,280,223
	30年経過分	210	3,846,600	2,862,648	1.34	1.66	4,651,844
	10年経過分	131	1,128,918	663,024	1.70	1.97	6,523,867
渡島・尻別川	50年経過分	1,586	67,115,434	41,044,841	1.64	1.73	19,129,401
	30年経過分	175	3,453,983	2,193,182	1.57	1.69	8,325,380
	10年経過分	50	453,071	240,525	1.88	2.03	3,241,117
米代・雄物川	50年経過分	474	23,276,950	16,287,355	1.43	1.52	34,030,601
	30年経過分	124	2,794,852	1,974,206	1.42	1.49	30,098,015
	10年経過分	84	863,221	471,580	1.83	1.80	11,577,681
那珂川	50年経過分	89	3,946,135	3,299,927	1.20	1.24	1,758,790
	10年経過分	31	304,812	205,854	1.48	1.46	1,039,405
神通・庄川	50年経過分	773	41,933,429	29,657,449	1.41	1.41	72,703,738
	30年経過分	91	2,247,026	1,627,237	1.38	1.36	44,337,747
	10年経過分	137	1,562,008	861,417	1.81	1.67	9,579,434
宮川	50年経過分	228	12,418,629	8,481,631	1.46	1.53	30,147,888
	30年経過分	136	3,470,713	2,362,482	1.47	1.50	22,598,944
	10年経過分	49	565,855	297,604	1.90	1.83	7,687,645
円山・千代川	50年経過分	809	39,196,775	26,295,883	1.49	1.48	70,222,487
	30年経過分	367	8,219,282	5,525,456	1.49	1.44	66,451,408
	10年経過分	154	1,580,557	815,319	1.94	1.77	21,831,194
吉野・仁淀川	50年経過分	440	26,786,290	14,497,040	1.85	1.65	49,035,412
	30年経過分	189	4,399,925	2,892,829	1.52	1.62	39,856,618
	10年経過分	195	2,391,412	1,049,149	2.28	1.97	16,065,757
菊池・球磨川	50年経過分	1,021	56,055,051	34,937,502	1.60	1.60	53,972,974
	30年経過分	161	3,774,240	2,550,105	1.48	1.54	26,777,570
	10年経過分	95	1,022,375	523,379	1.95	1.95	16,463,595

※菊池・球磨川広域流域については、参考B/Cは平成29年度のものに記載。